

# トレーディングカード（見本）

登録有形文化財 昔ゅうあげきしょうがっこうもんおよびせきさく  
**旧阿下喜小学校門及び石柵** 24-0181



ヘリテージカード Ver1.0 (2017.02) (一社)三重県建築士会

登録有形文化財 DATA

所在地：いなべ市北勢町  
 阿下喜字二俣1974地

種別：学校

年代：明治後期  
 大正10-15年改修

正門：石造、間口6.0m  
 門：石造、間口2.8m  
 石柵：石造、総延7m

公開情報：一般公開

ランダム情報  
 旧校地の南辺を面する石造の門と石柵で、中央に正門を、西に門を開く。正門は花崗岩の石柱を立てて宝形造の笠石を載せ、左右に控え柱を添える。門も同型式でやや小振りとする。石柵基礎上に記列した石柱に鉄棒を渡している。

現況情報  
 明治開校時の面影を伝える遺構。前面道路から正門、校庭、校舎がほぼ直線状に配置され、抜群の見通しとなっている。正門脇の桜が咲く時期には、記念写真等の絶好のポイントとなる。

詳しくは ▶ 三重県文化財データベース  
<http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/bunkazai/da/resultCate?hiddenSpetype=25>

登録有形文化財 とうりんかん  
**桐林館**(旧阿下喜小学校) 24-0180



ヘリテージカード Ver1.0 (2017.02) (一社)三重県建築士会

登録有形文化財 DATA

所在地：いなべ市北勢町  
 阿下喜字二俣1974

種別：学校

年代：明治後期築  
 大正10.15改築  
 昭和12年移築

構造：木造平屋建

建築面積：345㎡

公開情報：逐次開館。月曜・火曜、年末年始閉館。

ランダム情報  
 南面中央に切妻造の玄関を構え、屋根の中央に塔屋を載せ、左右にドーマー窓を飾る。外壁の腰を下見板張りとし、外観や内部造作とも旧規をよくとどめる戦前の木造校舎。当時のまま残る門や石柵と共に地域に親しまれている。

現況情報  
 校舎には柱が多くあり、校舎も形をとり、校歌でも歌われているところから桐林館と名付けられ、親しまれてきた。玄関裏壁にも校章が貼られていたが、現在は建物内に保管されている。中央塔屋や玄関裏飾り、旧教室内の天井点検口の意匠なども大変凝っている。

詳しくは ▶ 三重県文化財データベース  
<http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/bunkazai/da/resultCate?hiddenSpetype=25>

登録有形文化財 いせがわさきしょうにんかんしゅおく  
**伊勢河崎商人館主屋** 24-0028



ヘリテージカード Ver1.0 (2019.02) (一社)三重県建築士会

登録有形文化財 DATA

所在地：三重県伊勢市河崎  
 2-25-32

種別：産業3次

年代：明治中期

構造：木造2階建

建築面積：205㎡

公開情報：一般公開  
 9:30～17:00  
 休館日/火曜日(祝日の場合翌日)

ランダム情報  
 伊勢河崎商人館は河岸問屋街の河崎にある旧株式会社小川商店の一連の施設。主屋は、2階建、切妻造・妻入で、屋根は本瓦葺である。正面が街路に対して縦割に突き出ているため、壁面を下見板で囲った特徴ある外観と相俟って、独特な景観を創り出している。

現況情報  
 主屋・外廻りは伊勢市蔵の構成要素を持ち、正面の欄干は刻み出しの中に収納される。2階出格子の庇屋根は一枚瓦葺き、欄干瓦は櫛の意匠である。茶室は今日庵(こんにちあん)にある時々斎(とつとつさい)の写で、赤松の床柱、桐の家紋の欄間等ゆかりの構成要素が見られ河崎商人の生活文化に触れることができる。

詳しくは ▶ 三重県文化財データベース  
<http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/bunkazai/da/resultCate?hiddenSpetype=25>

登録有形文化財 ふくとくこうみんかん(旧うねだそんかつちんがっこうふくとくぶんきょうしやう)  
**福德公民館**(旧明村立明小学校福德分教場) 24-0244



ヘリテージカード Ver1.0 (2019.02) (一社)三重県建築士会

登録有形文化財 DATA

所在地：三重県亀山市関町  
 福德字下廻内143-1

種別：公民館

年代：昭和25年

構造：木造平屋建

建築面積：98.8㎡

公開情報：外部一般公開  
 内部は無料

ランダム情報  
 建物は寄棟造、桧瓦葺き東面及び西面下屋付、棟瓦葺きである。北面の正面玄関は学校建築特有の正面性を示す左右対称の外観であり、外壁は下見板張、南面及び、北面の上部に板庇をのぼし、異壁造し小室の小壁をつける。

現況情報  
 南面から寄棟造の後姿がまず見える。廻り込んで北側に正面玄関がある。内部は片面下を通し、東側に板の間、西側に和室、東側の下屋に倉庫、西側の下屋に便所及び物置を配する。内部の低い黒板が往時の低学年用の分教場であった様子を伝える。

詳しくは ▶ 三重県文化財データベース  
<http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/bunkazai/da/resultCate?hiddenSpetype=25>